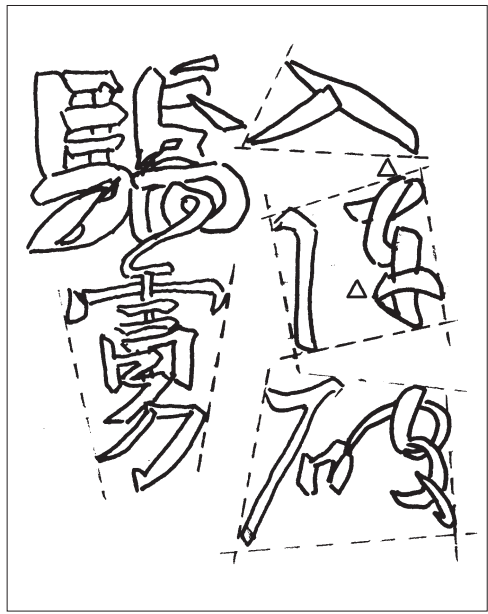


裴將軍詩・顏真卿

第五回  
1、字句「入陣破驕虜」

高橋香樹会長担当 半紙臨書課題  
(1月22日締切) 出品料440円



2、形式「半紙タテ使用。右に「入陣破」、左に「驕虜」と臨書し、左余白に落款「〇〇臨」と書き入れる。

3、概観「季刊墨スペシャル第五号顏真卿」平岡篤頼先生インタビュー記事抜粋掲載の三回目です。「写真で見るとたいしたことはないんですが、習ってみたらやはりすごい。たとえば、たいていの画は一、二、三の三拍子のリズムでいいんじゃないかと思ってやってみましたが、だめなんです。たとえば点なんかを見ても、四拍子という感じ。つまり、逆入しているから、右上にぐっと入って、右下に下がり、そして下にもって行って、また左にハネている。だから梯形みたいになるんです。それで、へーっと思って、実際にそうしてみると気合が入る。気脈にぐんと力が入る。これは相当、筆が躍動していかないとできないことです。」

4、各字のポイント  
入 穏やかに入筆、運筆。  
陣 △二ヶ所で表面から裏面へ。  
破 偏は、楷書的行書。旁は草書。  
驕 筆脈は分かりにくいのが、下記のような。  
虜 上部は隸書的表出。下部は行書的。



一字書課題

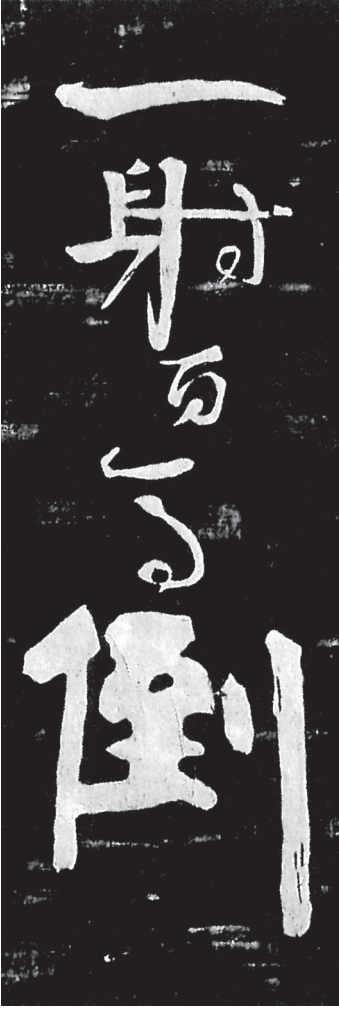
(一月二十二日締切)

紫

- (1)書体自由 (2)半紙タテ
- (3)落款は余白に調和を工夫し書き入れる

- (4)出品料 四四〇円
- (5)バーコード券の余白に「一字書」と記入

条幅随意参考



一射百馬倒

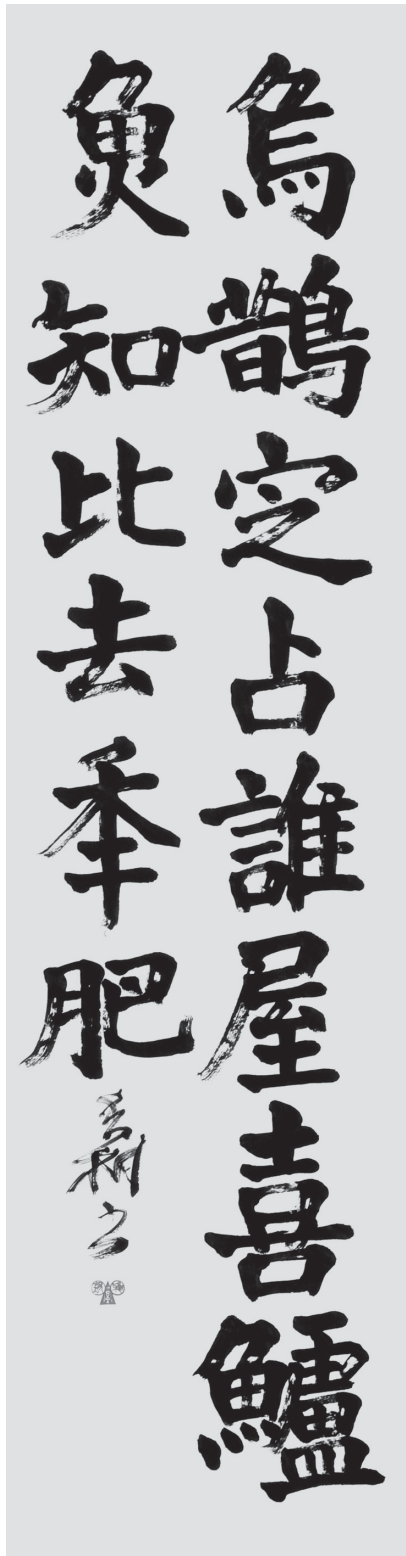
(芸術新聞社)

※抜粋可。条幅は一枚目無料、二枚目から五五〇円。半紙随意部(無料)にも出せます。条幅部に出品する場合はバーコード券余白に「条臨」と記入。

条幅部漢字課題参考

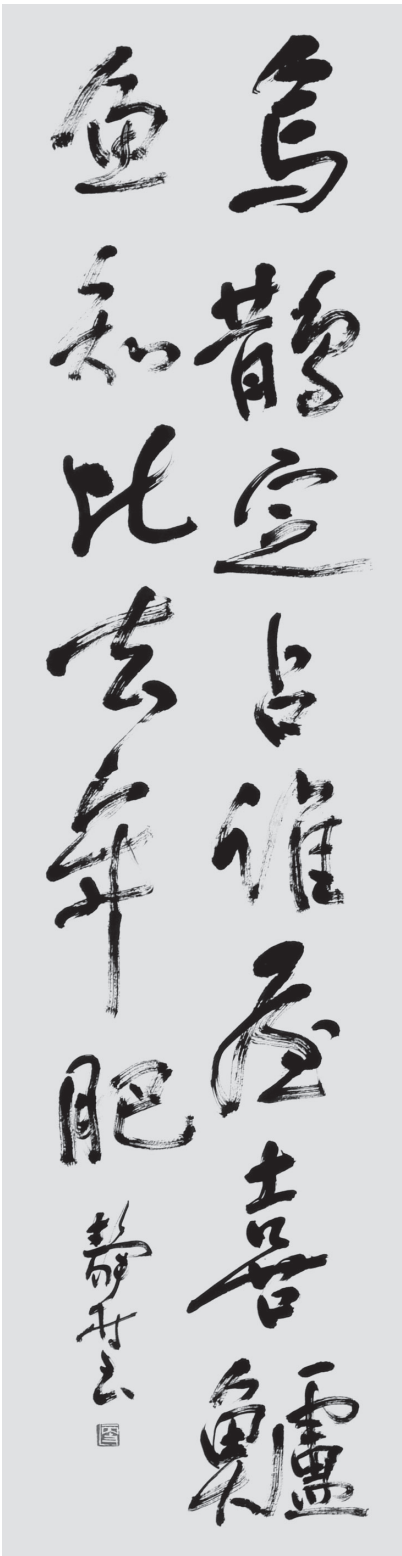
(一月二十二日締切)

A 高橋香樹会長書



烏鵲定占誰屋喜 鱸魚知比去年肥 (戴表元)  
烏鵲定めて誰が屋を占いて喜べる。鱸魚去年に比して肥ゆるを知る。

B 鈴木静村先生書



久し振りに楷書作としました。「烏」はこの形が圧倒的に多い。「魚」は二字ある為に一字は「魚」に、「年」は部首では「干」の部にてくるが、甲骨文・金文では、「禾」の下に「人」で、小篆になって「禾」に「干」となり、楷書では「禾」に「干」の形も多く書かれています。

烏 蘇東坡の書体。鵲 旁を大にした形。定 古典には多い。屋 草体、左斜画の脈絡大に、王鐸調。鱸 第二画は最後でも可。魚 行書・文徵明から摂る。比 墨継ぎ。一般的には去。年 何紹基から流用。

訳：烏鵲は誰の家の吉兆を喜んでいるのかと定め、鱸魚は去年と比べて肥えていると分る。

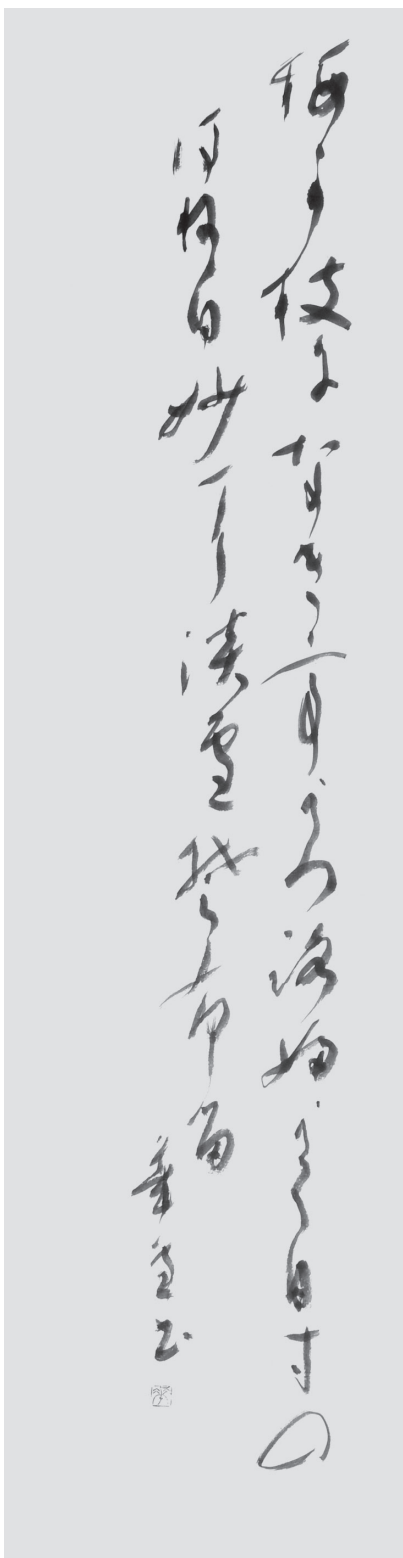
予告 (二月二十二日締切) 海上閑雲孤鶴夢 山頭積雪野梅香 (唐仲冕)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み( )に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

条幅部かな課題参考 (一月二十二日締切)

A 平岡華雪先生書

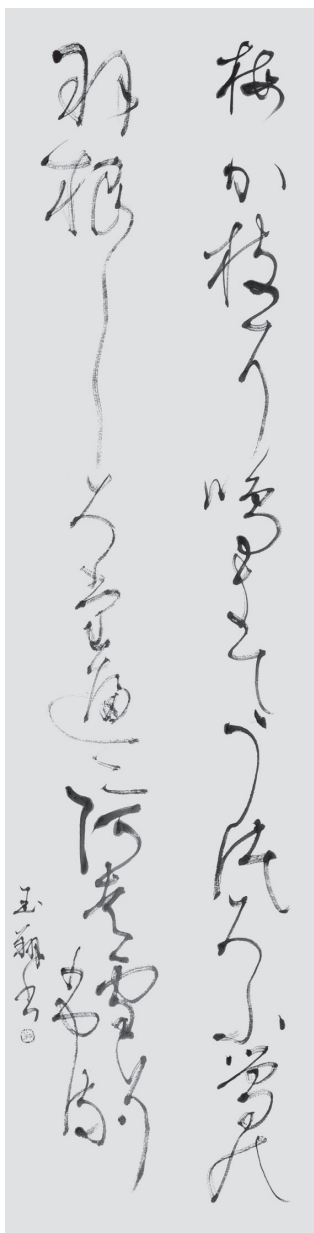
梅が枝になきてうつろふ鶯の羽根しるたへにあは雪ぞふる (新古今和歌集 読人しらず)  
梅か枝ルなき亭うつ路婦うく日寸のはね白妙耳淡雪楚布留



B

福田玉翔先生書

梅か枝耳鳴支てう徒ろふ鶯能羽根しる堂遍二阿者雪曾布流



書くことによりて慣れますので、初めての方も是非挑戦してください。半紙と半切を修練していると、その間の大きさの創作は自由にできるようになります。「習うより慣れる」です。

学び方

二行目後半で、行をずらして三行書きの亜流でまとめました。全くの二行書きより趣に新鮮さが加えられます。また、墨継ぎでは墨量を目立たせてインパクトを加味しました。字形に囚われ過ぎるとリズム感が失われますので、運筆の速度に変化をつけて流れを大切に考えてください。

予告 (二月二十二日締切)

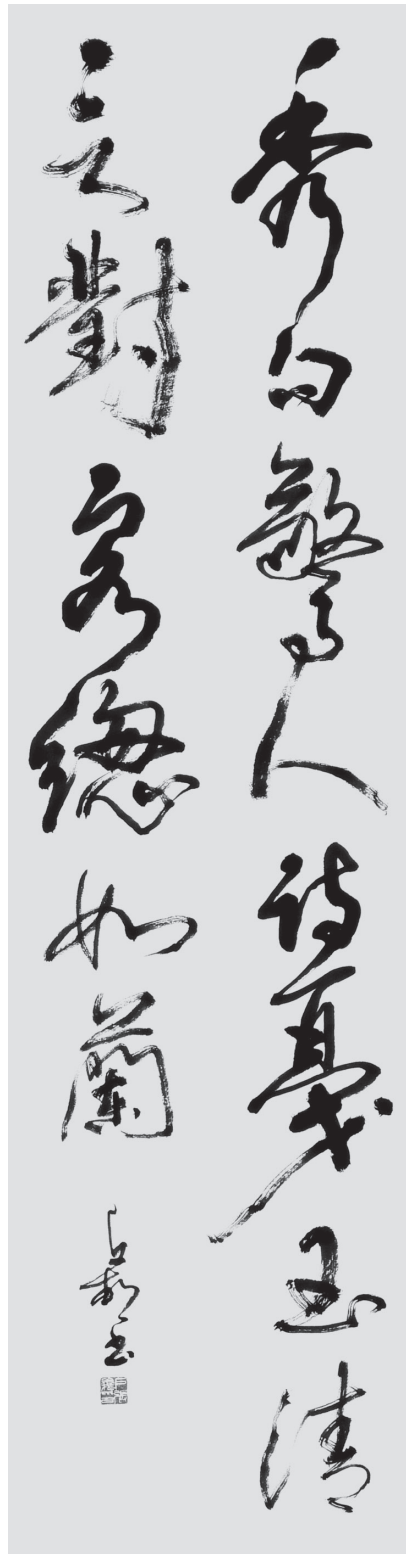
いづくとも春のひかりはわかなくにまだみ吉野の山は雪ふる (凡河内躬恒)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
  - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み( )に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

条幅部 随意参考

戸張丘邨先生書

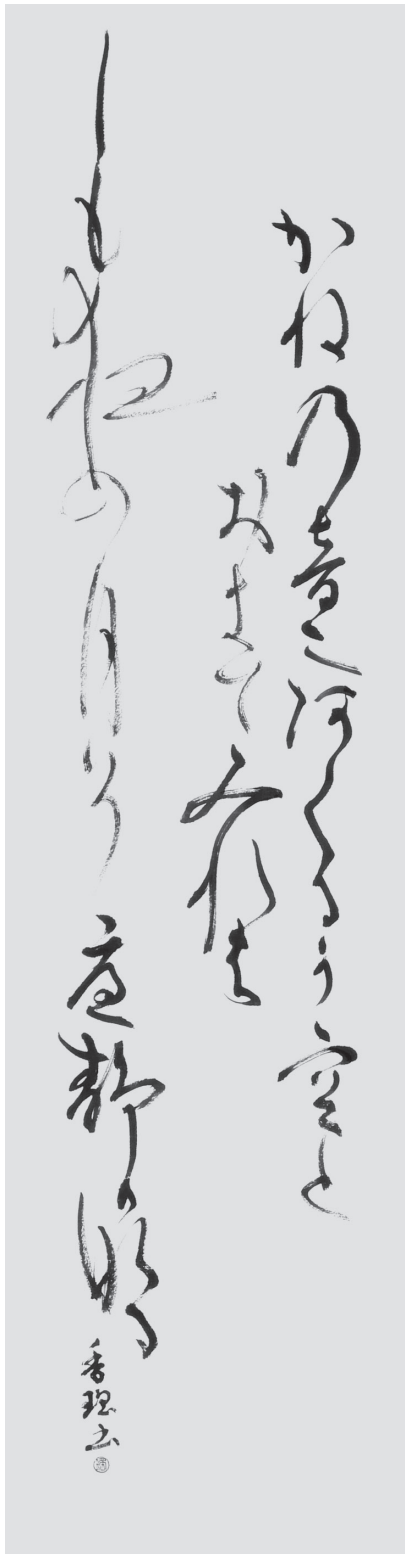
秀句驚人詩憂玉 清言對客總如蘭（謀壇）  
秀句人を驚し詩玉を憂し、清言客に対し総て蘭の如し。



訳：秀逸の句は人を驚かしてその詩は玉のひびきとする、客と老荘を談ずる言はすべて蘭の香りを聞くが如き心地とする。

内藤香瑶先生書

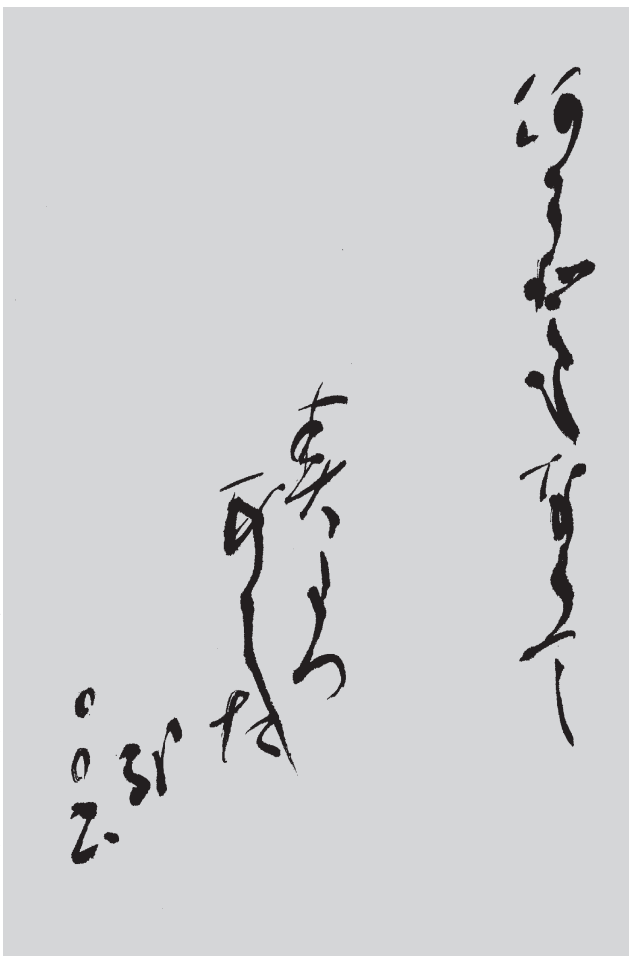
鐘の音にあくるか空と起きてみれば霜夜の月ぞ庭静かなる（後伏見院）  
かねの音にあくるか空とおきてみれば霜夜の月ぞ庭静かなる



- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
  - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料550円）

かな部課題参考 (一月二十二日締切)

漢字部課題参考 (一月二十二日締切)



(二月二十二日締切)

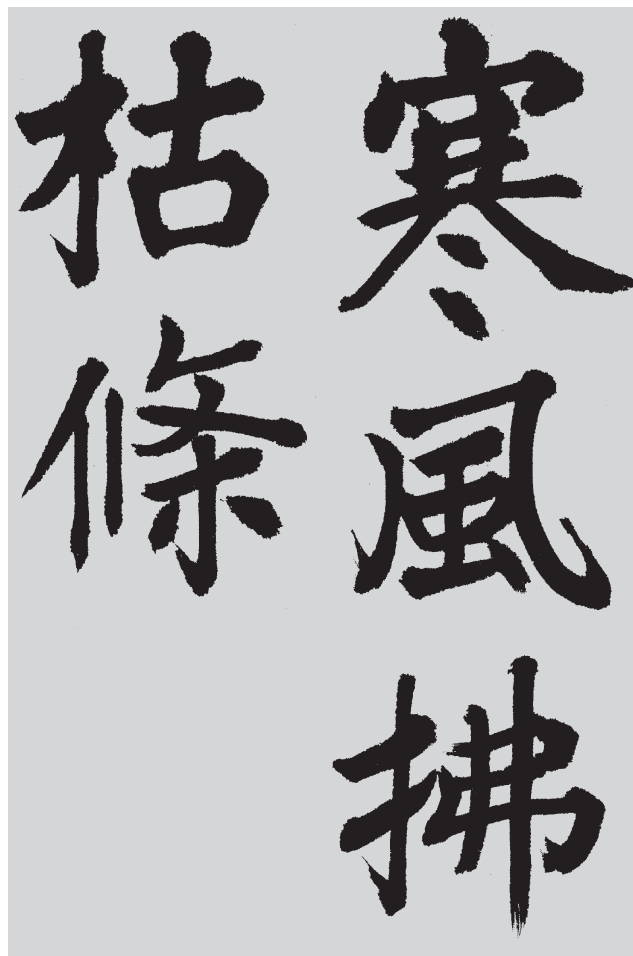
春寒<sup>さむ</sup>や砂<sup>すな</sup>より出<sup>い</sup>でし松<sup>まつ</sup>の幹<sup>みき</sup>(虚子)

平岡華雪先生書  
 何<sup>な</sup>ごともなく<sup>く</sup>て春<sup>はる</sup>たつあしたかな(土郎)  
 何<sup>な</sup>こ登<sup>と</sup>もな久<sup>く</sup>天<sup>てん</sup>春<sup>はる</sup>多<sup>た</sup>つあした哉<sup>かな</sup>

句意に即した散らし方。連  
 縮区切りも、口誦むとよく  
 解ります。「何こ登もな久  
 天」の主情を第一行書きに  
 意識化。



(「31点」と覚えると、筆意もスムーズ)



(二月二十二日締切)

温故知新(論語)

平岡華雪先生書  
 寒風枯條を拂う  
 訳：寒風が樹々の枯枝を吹く。

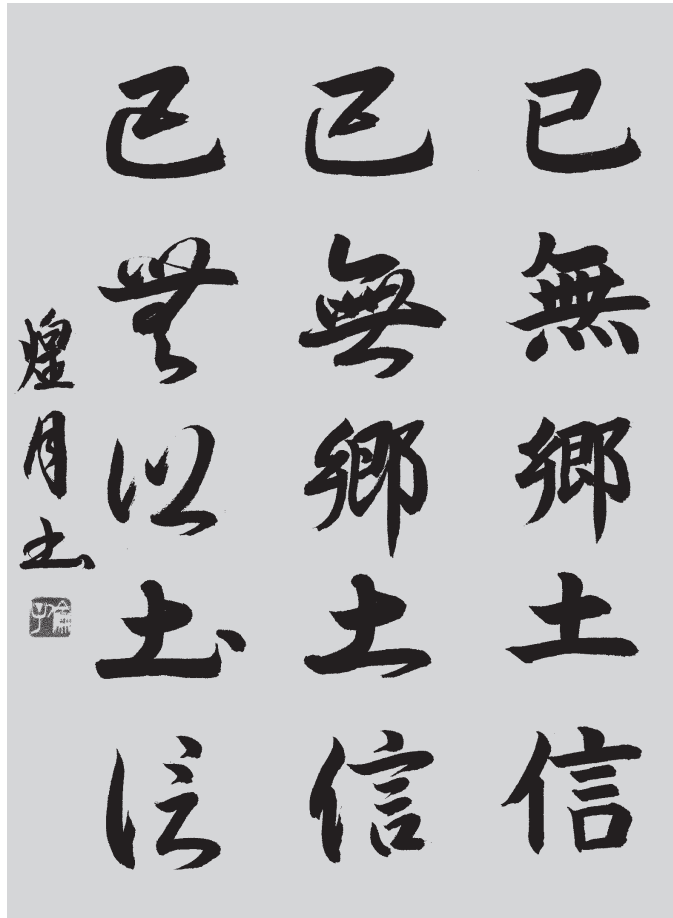
「寒」の字体、筆順  
 には複数あります。  
 いろいろと深めてみ  
 て下さい。



◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に①～④を記入し、作品左隅に貼付の上、出品して下さい。一般会員は無料、会員外出品料は460円。

①出品部門(例：「漢字部」「かな部」) ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

楷、行、草、三体課題参考 (一月二十二日締切)



訳：…もはや故国からの音信もとどえて

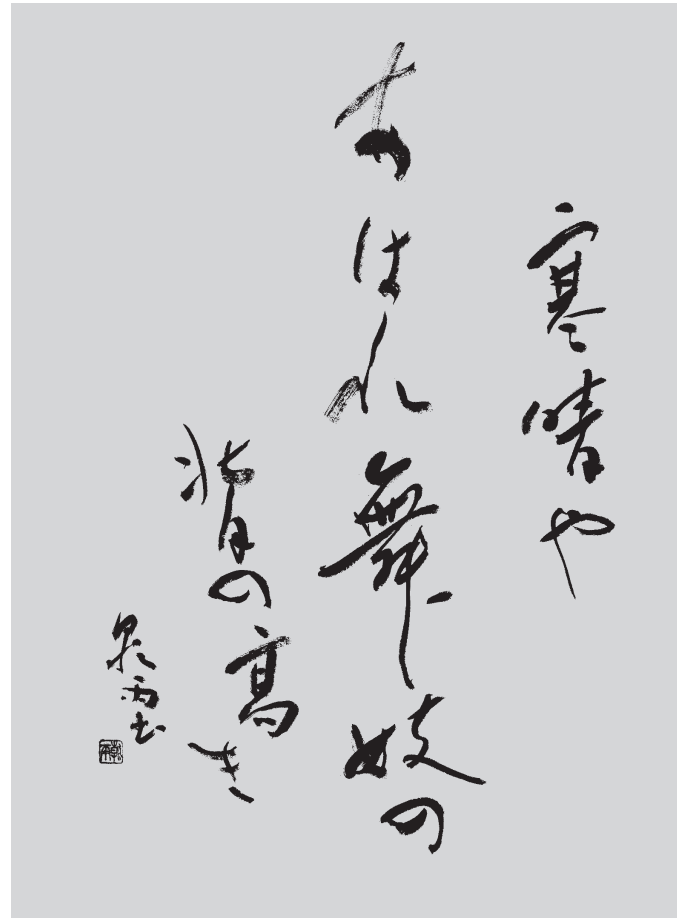
町田煌月先生書

已無郷土信(項斯)

すでに郷土の信無く

(1)随意部参考として出品してください。(2)会員外の出品料は460円。

漢字かな交じりの書課題参考 (一月二十二日締切)



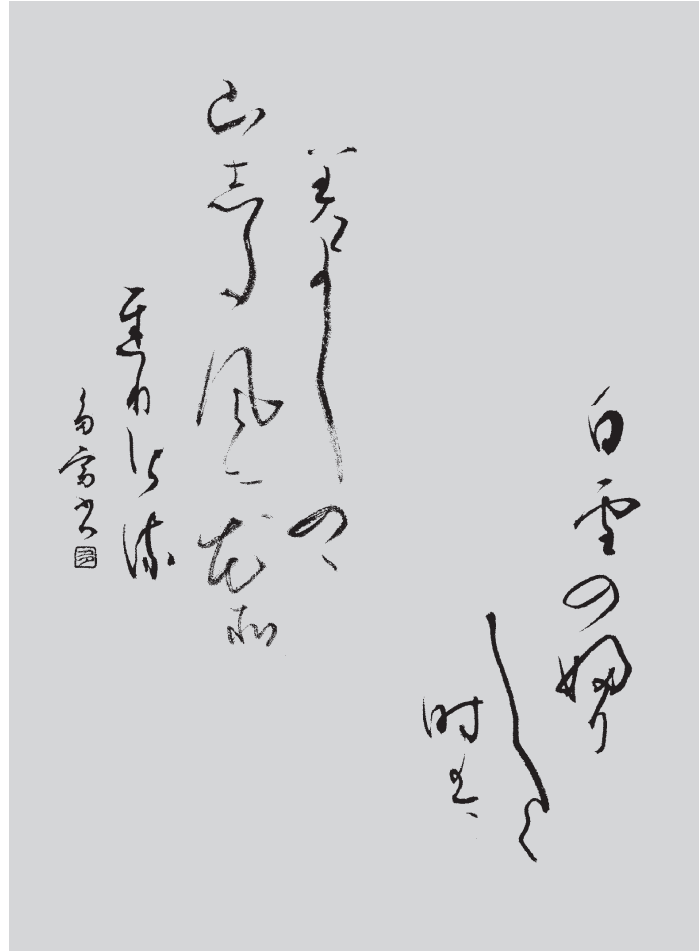
檜田朝雨先生書

寒晴やはれ舞妓の背の高き

(飯島晴子『寒晴』平2・6)

(1)出品料550円 (2)バーコード券余白に「漢か」と記入

随意部参考

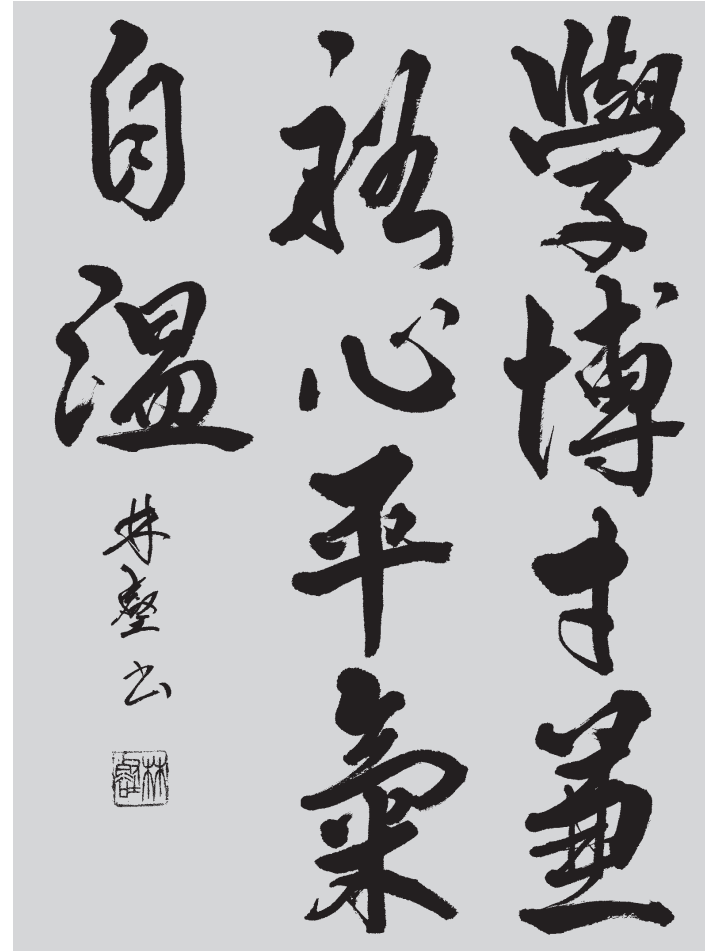


森 多富先生書

白雪の降りし<sup>上</sup>く時<sup>よしの</sup>はみ吉野の山<sup>かぜ</sup>した風<sup>はな</sup>に花ぞちりける (古今和歌集 紀貫之)  
 白雪の降りし久<sup>ふ</sup>時<sup>は</sup>盤<sup>はみ</sup>美<sup>よしの</sup>よしの、山志多風二花所遅利介流

訳：学問も広く才もまた多く、心も平らかに気は自然におだやかである。

随意部参考



高山林壑先生書

學博才兼裕 心平氣自温 (張鉉)  
 学博<sup>かくひろ</sup>ければ才兼裕<sup>さいまたゆたか</sup>に、心平<sup>こころたいらか</sup>なれば氣自<sup>きおのすか</sup>ら温<sup>おん</sup>。

(1)随意部参考として出品してください。(2)会員外の出品料は460円。

硬筆部課題参考 (一月二十二日締切)

湯澤春翠先生書

石原春香先生書

課題 2 (初段階以下)

課題 1 (初段階以上)

一片の雪にも、一本の草にも、一匹の  
 虫の眼の組織の中にも、驚くに  
 たえた秩序がひそんでいる。

西行が命をかけて旅をし、芭蕉もまた  
 それにならった歌枕の旅は、日本  
 のみある芸術の鍛練のかたで  
 あります。

課題 1 (初段階以上)

西行が命をかけて旅をし、芭蕉もまたそれにならった歌枕の旅は、日本にのみある芸術の鍛練のかたであります。

『日本の美』中井正一

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四六〇円

課題 2 (初段階以下)

一片の雪にも、一本の草にも、一匹の虫の眼の組織の中にも、驚くにたえた秩序がひそんでいる。

『図書館に生きる道』中井正一